北区役所だより

潟と大河と日本海、水の恵みに育まれ、人と人とがつながり、心豊かに支え合い、発展するまち

令和８年(2026年) 11月15日号

毎月第１・３日曜日 発行 Vol.471

■編集・発行 新潟市北区役所地域総務課

〒950-3393 新潟市北区東栄町1丁目1番14号 ☎025-387-1000(代表) FAX 025-387-1020
ホームページ https://www.city.niigata.lg.jp/kita/ 電子メール chiikisomu.n@city.niigata.lg.jp

北区 人口 68,604人(−93) 男 33,492人(−49) 女 35,112人(−44) 世帯数 30,465世帯(＋７) ※令和８年10月末現在 カッコ内は前月比 住民基本台帳から

冬鳥に会いに、福島潟へ。



越後平野の潟や湿地が次々と干拓される中、福島潟は今も残る貴重な潟の一つです。

冬にはハクチョウなど多くの冬鳥が訪れるほか、オオヒシクイなど、特に警戒心の強いガン類にとって大切な越冬地となっています。

今回は、冬の福島潟の見どころを紹介します。

問産業振興課文化・スポーツグループ(☎025-387-1195)









福島潟の魅力



北区の鳥・オオヒシクイ

夏はロシアのカムチャツカ半島で繁殖し、９月末～10月初めに福島潟へ飛来。２月ごろまで越冬します。

ポイント

国の天然記念物であるオオヒシクイは、平成27年１月、北区の鳥に制定されました。多い時には5000羽以上が福島潟で越冬します。



冬鳥飛び立つ朝の潟

野鳥観察舎「雁晴れ舎(がんばれしゃ)」では日の出からハクチョウやオオヒシクイが飛び立つ光景を見ることができます。

ポイント

ガンの仲間は早起きで、日の出には動き出します。大きな音や人影に敏感です。遠くから見守りましょう。



潟を一望できる展望台

水の駅「ビュー福島潟」の屋上展望台からは、福島潟や越後平野が一望でき、湿地帯から広がる土地の変遷を感じられます。

ポイント

周辺の田んぼに降りて餌を食べるハクチョウやオオヒシクイを探してみましょう。



潟中央カメラ

ビュー福島潟４階の映像展示室では、野鳥に警戒されることなく、ライブカメラを操作してスクリーンでその様子を観察できます。

ポイント

オオヒシクイがヒシの実を「喰う」場面をアップで見ることができるかも！

この冬、福島潟へ行こう！

イベント1 バードウォッチング

日11月22日(日)、12月13日(日)
各日10：00～11：30
内野鳥を観察しながら潟を散策します。双眼鏡の貸し出しあり。荒天時中止。
人各回先着10人
¥入館料のみ
申電話でビュー福島潟
(☎025-387-1491)



モズ

イベント2 第33回福島潟フォトコンテスト

応募期間
12月１日(火)～１月24日(日)
内福島潟の自然と人とのかかわりをテーマにした写真を募集します。
審査委員
写真家　五十嵐七郎
※応募要項、応募票はこちら▶



昨年度の大賞「獲物獲得」上杉正春

イベント3 福島潟マスコットキャラクター クイクイ

日12月12日(土)～１月10日(日)
場ビュー福島潟５階
内クイクイの紹介パネルの展示のほか、案内チラシ「福島潟たより」で連載を重ねてきた４コマ漫画「ぼくクイクイ」の全作品を公開します。
¥入館料のみ





水の駅「ビュー福島潟」

同館ホームページ▶

開館時間　9：00～17：00(入館は16：30まで)
休館日　月曜日(祝日の場合は翌日)、12月28日～１月４日
入館料　一般520円、小・中・高校生260円、就学前児無料　※４階以上を利用する場合
問い合わせ　☎025-387-1491

本文中の日問などのマークは３面おしらせ版と同様です。